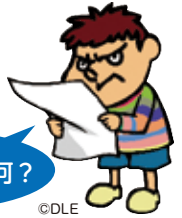




8月22日は「ジオパークの日」

2009年8月22日、日本に初めて世界ジオパークが誕生したことを記念して制定されました。8月22日の週はジオパークウィークです。

ジオパークって何？



©DLE

ジオパークは、「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」を組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味しています。ジオパークでは、私たちの暮らしている地域の「地質・地形(ジオ)」とそこに生きている「生態系(エコ)」、そしてそれらと人の「生活・歴史・文化・産業(ヒト)」との関わりを学び、楽しむことができます。

自分たちが暮らす地域と、ジオ・エコ・ヒトがどのようにつながっているか、この機会に考えてみませんか。

8/31(土) 立久恵峡で自然体験イベント開催！

- ・立久恵峡散策
- ・川遊び、アユのつかみどり・調理体験 ほか

最新情報はホームページをチェック！

ジオパークサポーター **ジオパーク** も募集中！

参加者
募集中！



島根半島・宍道湖中海ジオパーク 検索

島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会
松江市役所：ジオパーク推進室 ☎0852-55-5399
出雲市役所：政策企画課 プロジェクト推進室 ☎21-6079

島根半島・宍道湖中海ジオパークの魅力を一部ご紹介します！



出雲日御碕灯台と柱状節理

出雲日御碕灯台は、流紋岩の岩盤の上に建っています。出雲日御碕灯台の周辺には、溶岩の冷却時にできた4～7角柱の柱状節理が広がっています。



立久恵峡

約1,500万年前に形成された溶岩からなる安山岩や火砕岩が浸食されてできた渓谷です。その景色の美しさから、国の名勝天然記念物及び島根県指定県立自然公園に指定されています。

OH!

地産地消コーナー まいがな出雲！

Vol.57 今月の食材 アスパラガス

出雲市の特産品として生産が盛んなアスパラガスは、鮮やかな緑色が食卓に彩りをそえます。

アスパラガスは市内各地で栽培されており、1年に2回、春と夏に旬を迎えます。収穫時期までは栄養成分を株に蓄えさせるため、栽培方法として、茎を伸ばして光合成をさせるのが特徴です。

アスパラガスはアミノ酸の一種であるアスパラギン酸を多く含んでいるほか、ビタミン類やミネラル類、食物繊維も含んでいます。アスパラギン酸は、乳酸の分解を促進し、エネルギーに変換するため、疲労回復に効果があります。また、穂先に含まれるルチンには、血管を丈夫にする効果があり、高血圧や動脈硬化の予防につながります。

ゆでてサラダや和え物にしてもいいですし、炒め物や揚げ物にすると脂溶性ビタミンを効率良く吸収することができるので、おすすめです！

保存する際は、根元を湿らせたキッチンペーパーで包み、密閉容器に入れて、立てて冷蔵するのが美味しさを保つコツです。ぜひ試してみてください！

地元でとれる食材のおいしさを再発見してもらい、積極的に消費してもらいたい！地元食材や生産者に親しみをもってもらい、地域への愛着を深めてもらいたい！との思いで、いろいろな情報をお届けします。

今月の担当 健康増進課 ☎21-6976

アスパラとエリンギのバター炒め

調理時間
約10分

【材料】4人分

グリーンアスパラガス	6本	A {	酒	小さじ2
エリンギ	4本		しょうゆ	大さじ1
有塩バター	20g			
黒こしょう	少々			
食塩	少々			

【作り方】

- ①アスパラガスの硬い部分をピーラーで剥ぎ取り、長さ3cmの斜め切りにして、熱湯に食塩を加えて1分ゆでる。
- ②エリンギは長さ3cmの短冊切りにする。
- ③Aを混ぜ合わせておく。
- ④フライパンにバターを入れて中火で熱し、エリンギを炒める。エリンギがしんなりしたら、アスパラガスとAを加えてざっと炒め合わせる。
- ⑤器に盛り、黒こしょうをかける

1人分の栄養価：
エネルギー 59kcal
塩分量 0.7g





出雲ブランド商品紹介

市では、出雲の認知度やイメージを高めることができる商品を「出雲ブランド商品」として認定しています。企業の想いととも商品の魅力をお伝えします。



大社町に本店を構える株式会社アツタの「出雲結」をご紹介します。



「出雲結」はどのような商品ですか？

「出雲で創られた婚約指輪、結婚指輪が出雲とおふたりのご縁を結ぶ。」をメインコンセプトとしてブランディングしている婚約・結婚指輪です。

「縁結びの地 出雲」という地域性と結婚指輪をリンクさせた商品は、宝飾業界では類を見ません。地域の名を冠したブランドは出雲結以外にはなく、出雲で生まれ育った会社だからこそ、出雲の名を使用し、「出雲＝縁結び」のイメージと共に、コンセプトを語る商品となっています。

商品を製作する際にどのような点に気をつけていますか？

ブランド名に出雲という地域の名前をお借りしている以上、商品や私たちの行動がネガティブな印象にならないよう気をつけています。

利用者（購入者）からの反応はどうですか？

県外にお住まいの出雲や山陰出身の方に「地元とのつながりを感じる」と仰っていただけるのはとても嬉しいです。



出雲ブランドを活用したPR活動・効果について

行政から出雲ブランド商品として認定されていることが、同業他社との差別化であり、店頭で働くスタッフにとっても、ひとつの誇りとなっています。私たちとしても自信をもって、「出雲」を発信できるようになりました。

出雲ブランド商品
ホームページ



詳しくはホームページをご覧ください。

出雲ブランド 検索

おたずね／商工振興課 ☎21-6541



子どもたちが明るく元気に育つのをみると、未来に希望を感じます。毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人も「えがおになあれ」…そんな願いを込めて、このコーナーを設けました。(出雲市要保護児童対策地域協議会)



▲だんだんタイムの様子

出雲市不登校対策指針 ～未然防止の取組～

出雲市教育委員会は、未来を担う全ての児童生徒たちのために、令和6年2月に「出雲市不登校対策指針」を策定しました。指針では、不登校対策の基本的な考え方を示すとともに、対策を5つの柱にまとめており、「未然防止の取組」を柱の1つとしています。

今回はその取組の一部をご紹介します。

①居場所づくり・絆づくり

児童生徒の「居場所づくり・絆づくり」のため、学級での活動、児童生徒会活動、学校行事などの特別活動を通して、集団の中で自分がどれだけ大切な存在であるかというのを自覚し、自己有用感を高めていきます。

②だんだんタイム(よりよい人間関係づくり・対話力育成プログラム)

児童生徒のソーシャルスキルやコミュニケーション能力の向上を図るため、市内全校で「だんだんタイム」の実施を推進しています。だんだんタイムとは、4人程度のグループで、さまざまな話題について児童・生徒が話し合う活動です。

③教育相談体制の充実

困難さを抱える児童生徒を早期のうちに把握するとともに、継続的な関わりができるようにするため、心理の専門家であるスクールカウンセラーを全小・中学校に配置しています。児童生徒に対する相談のほか、保護者への相談にも対応します。ご相談がある場合は、遠慮なく学校へご連絡ください。

*** 最後に ***

児童生徒の困り感や小さなサインを見逃さないために、対話はとても大切です。児童生徒にとって、いつでも誰かが話を聞いてくれる、気にかけてくれているという環境は、自己肯定感や安心感を高め、やる気にもつながります。

児童生徒が安心できる環境づくりのために、学校と家庭が力を合わせていくことが大切です。

(執筆：出雲市教育委員会 児童生徒支援課)

おたずね／子ども政策課 ☎21-6604 FAX 21-6413 メール soudan@city.izumo.shimane.jp